

第6次総合計画について

1 総合計画とは

○まちづくりの基本的な指針

○市の最上位計画

○自治基本条例



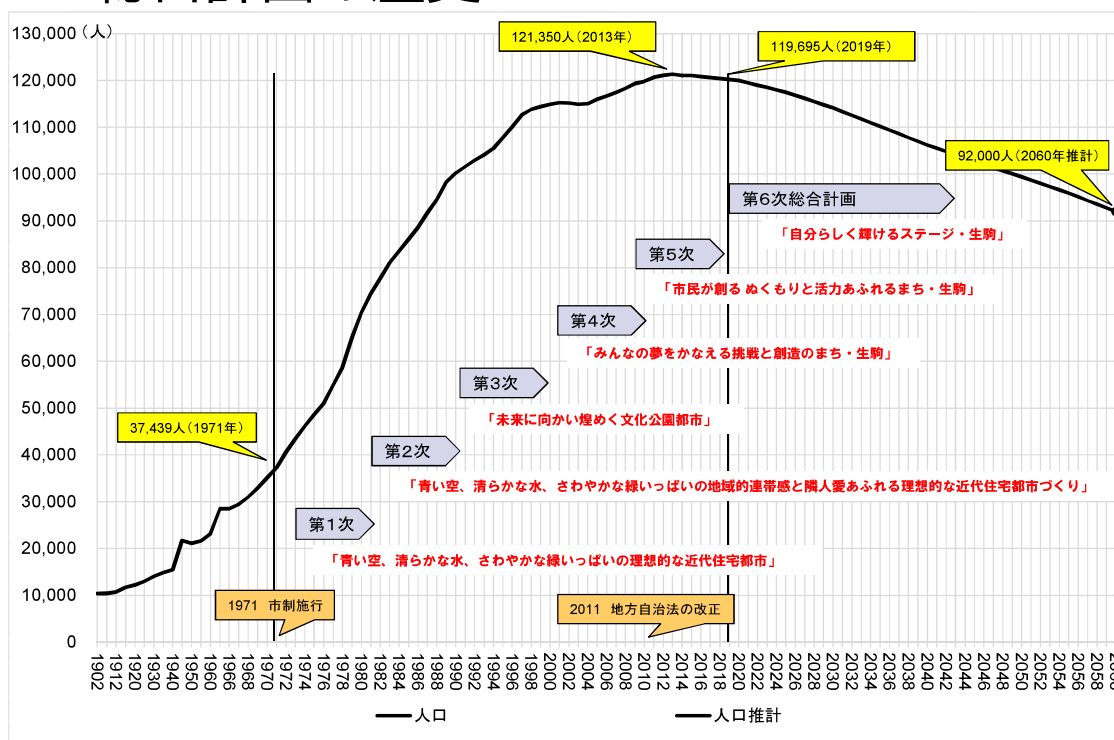
(総合計画等の策定)

第19条 市は、市民参画の下、総合的な市政運営の指針として、基本構想及びこれに基づく基本計画(以下これらを「総合計画」という。)をこの条例の趣旨にのっとり策定し、計画的な市政運営に努めるものとする。

2 市は、行政分野ごとの計画については、総合計画に則して策定するものとする。

3 市は、前2項の各計画の進行管理を的確に行うものとする。

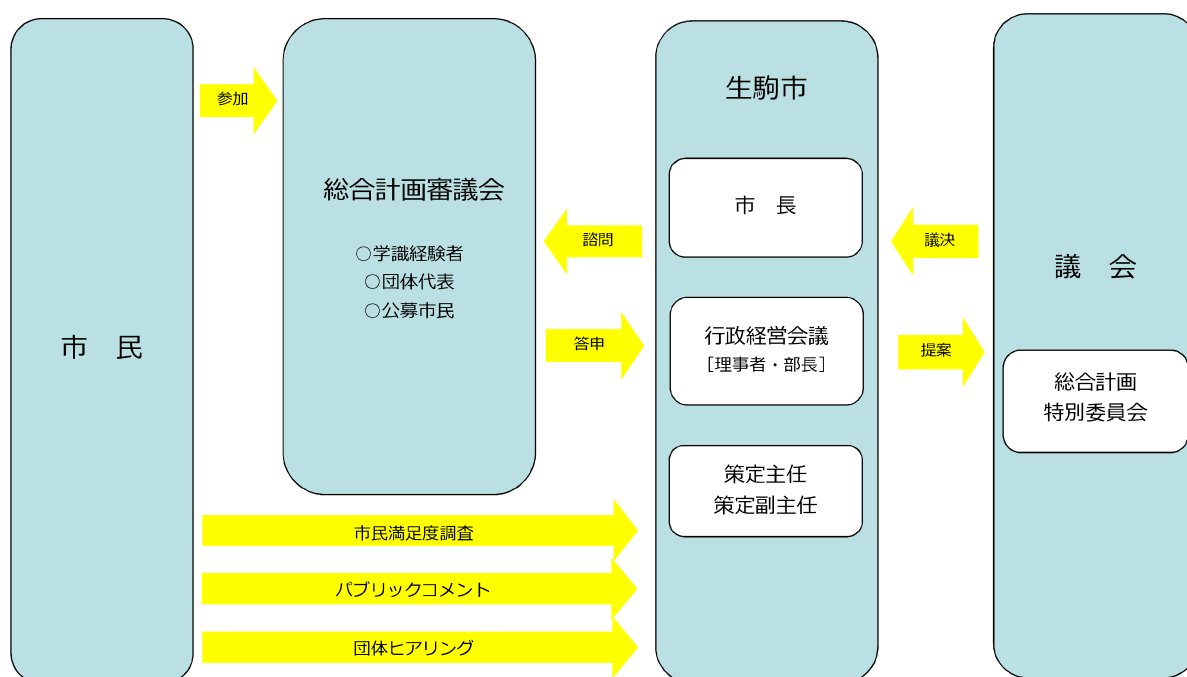
2 総合計画の歴史



3

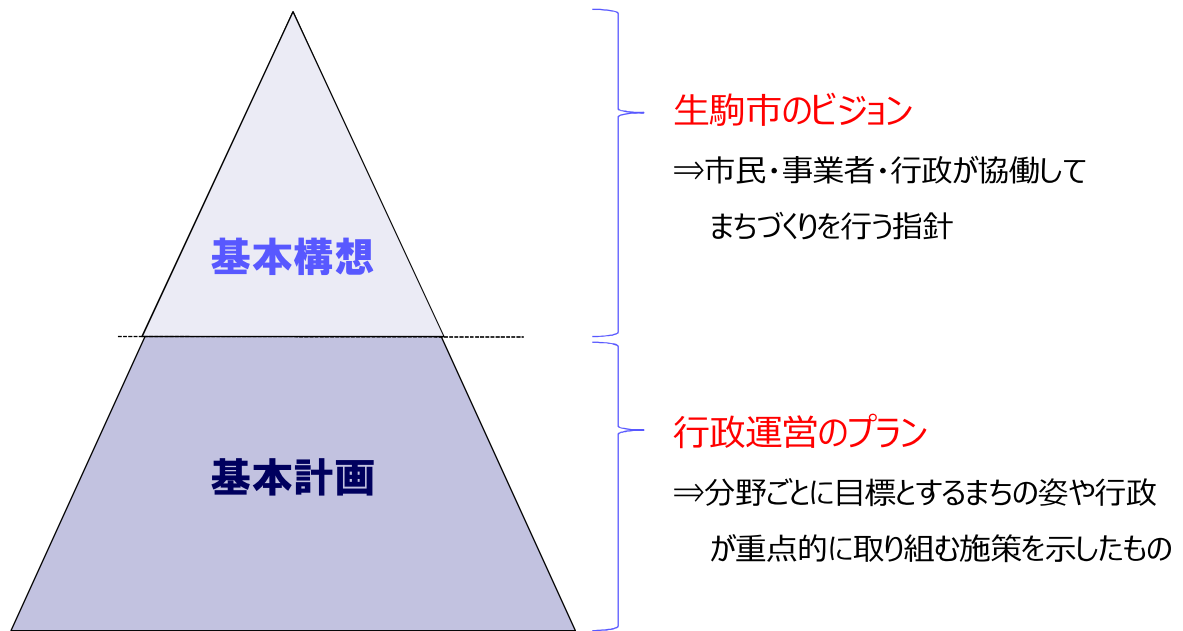
3 第6次総合計画の策定

【策定体制】



4

4 第6次総合計画の構成



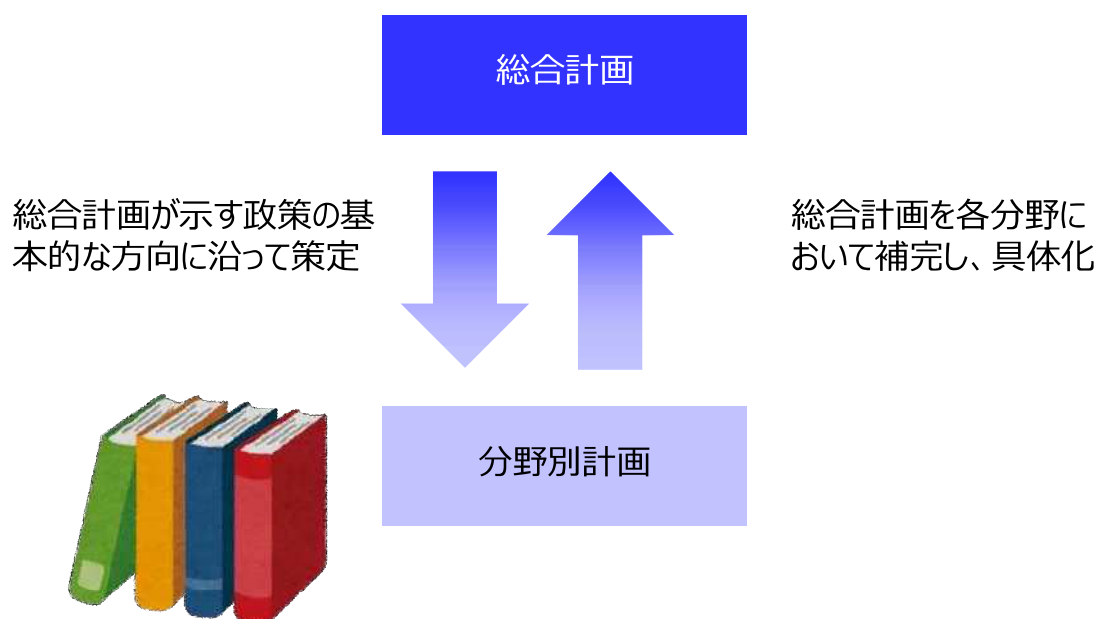
5

5 第6次総合計画の期間

年度	西暦	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040
	令和	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
基本構想 〔概ね20年〕	基本構想																						
基本計画 〔第1期：5年〕 〔第2期～：4年〕	第1期 第2期 第3期 第4期 第5期																						
市長任期																							

6

6 分野別計画との関係性



7

7 将来ビジョン

〈恒久的な目標〉

1. 市民憲章

生駒山の豊かな緑に育まれ、自然と歴史と文化が調和しながら発展しつづける生駒市。わたしたちは、ここに住むことへの愛着と誇りをもって、みんなの夢がかなうまちをきずくために、市民憲章を定めます。

- 1 自然を愛し、人と自然が共生する美しいまちをつくりましょう。
- 1 お互いに助けあい、安心して暮らせるやさしいまちをつくりましょう。
- 1 人権を尊重し、心のかよいあうあたたかいまちをつくりましょう。
- 1 スポーツに親しみ、健康で活力のあるまちをつくりましょう。
- 1 知恵を出しあい、世界にはばたく文化のまちをつくりましょう。

2. 自治基本条例

将来にわたり、すべての市民の人権が尊重され、人と自然が共生する、安全で安心な、健康で活力のある、文化の薫り高いまち

〈概ね20年先の目標〉

3. 総合計画 将来都市像 『自分らしく輝けるステージ・生駒』

8

7 将来ビジョン

将来都市像『自分らしく輝けるステージ・生駒』

「ベッドタウン」から「自分らしく輝けるステージ」へ

これまでの生駒市

- 大都市への通勤・通学者が多く住むベッドタウン
- 生駒には寝に帰るだけ

将来の生駒市

- 住宅都市の基本的な方向性は継続
- 日中の多くの時間を市内で過ごす暮らしに対応

 多様な暮らしを叶えるステージで、市民が輝く人生を送れる
まちを目指す

9

8 まちづくりの基本的な考え方

(1) 市民主体のまちづくり

まちづくりの主体は市民です。市民主体のまちづくりの基本ルールを定めた生駒市自治基本条例等に基づき、市民の参画、市民・事業者・行政の協働を推進します。

(2) 自助・共助・公助

身近な暮らしに関わるまちづくりにおいては、まず「自助」（自分自身が行う）、次に「共助」（周囲や地域が協力する、社会保険制度で支え合う）、そして「公助」（行政が支援し、補完する）という考え方（補完性の原理）を基本とします。

(3) 多様な主体との協創によるまちづくり

1人では解決できない課題も、市民、NPO、事業者等の民間主体が相互に、あるいは民間主体と行政など本来価値観の異なる主体が有機的に連携することで課題解決の可能性は高まります。多様な主体が緩やかにネットワークを形成し、互いが共有できる価値や解決策を創造する「協創」のまちづくりを進めます。

10

9 行政運営の基本方針

(1) 持続可能な社会を支える行政経営

人口減少・少子高齢化の進行、社会保障費の増加、公共施設の老朽化、厳しい財政状況、多発化する自然災害など、これまでの様々なシステムの持続可能性を大きく揺るがす変化が本市を取り巻いています。こうした環境変化に伴って多様化・複雑化する社会ニーズに対応するため、分野間の連携を強化し、柔軟な施策展開を図るとともに、必要に応じて既存の行政手法や組織を見直し、次世代へ引き継ぐための持続可能な社会を支える行政経営を行います。

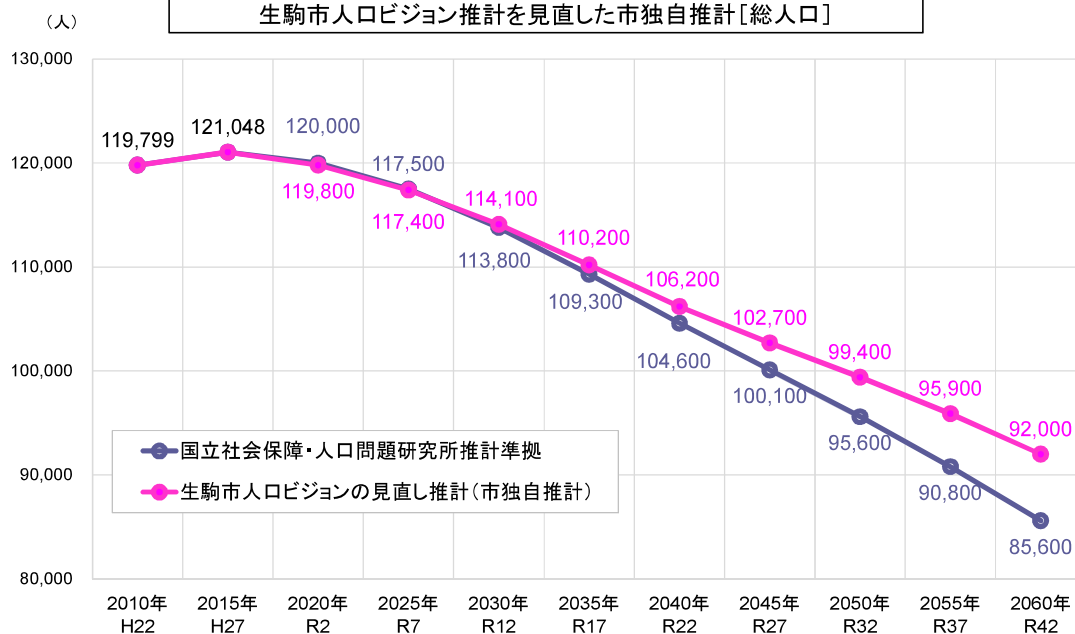
(2) 証拠に基づく政策づくり

行政経営においては、限られた資源の中で政策の有効性を高めるため、政策目的を明確化し、目的に沿った成果が出るかを客観的なデータや証拠に基づいて検証しながら施策を立案する、証拠に基づく政策づくり（EBPM）を進めます。そのもとで、政策実行後も成果を検証し、取組の改善を進めていく政策のPDCAサイクルを確立します。

11

10 人口フレーム

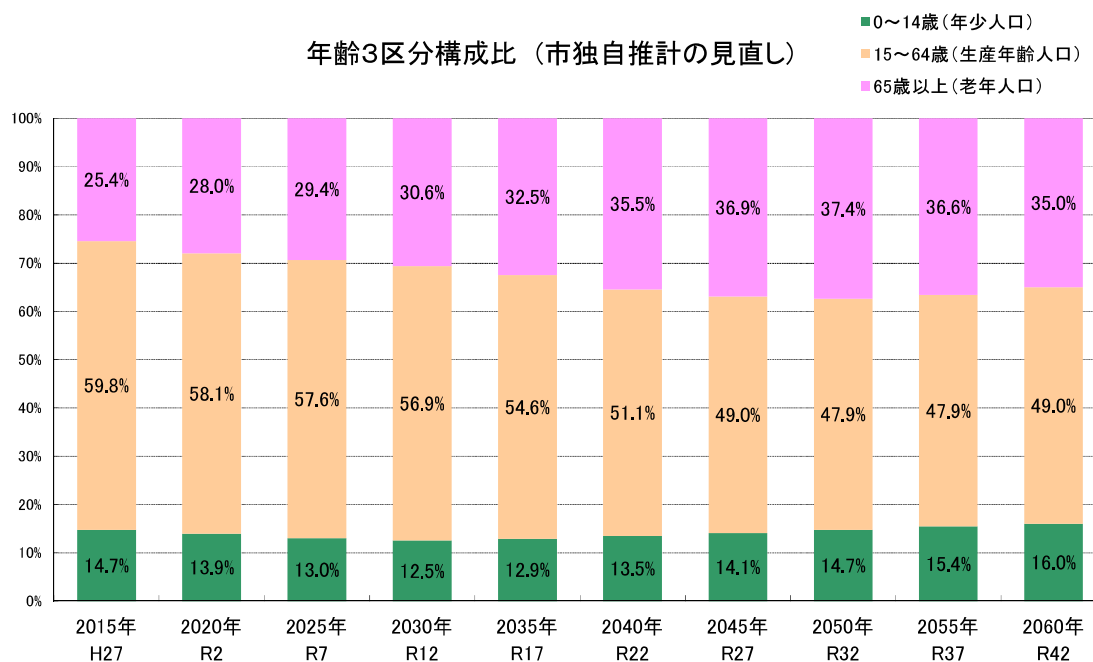
国立社会保障・人口問題研究所将来推計人口（2018年推計）を踏まえて
生駒市人口ビジョン推計を見直した市独自推計〔総人口〕



12

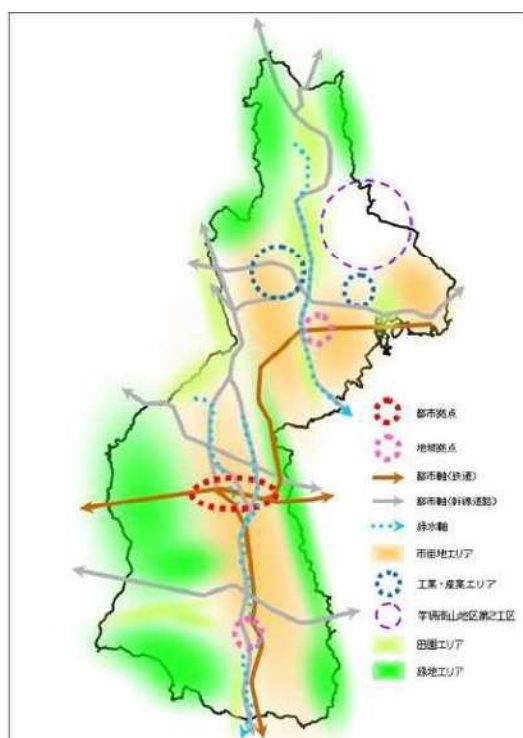
10 人口フレーム

年齢3区分構成比（市独自推計の見直し）



13

11 都市構造の基本的な考え方



○都市拠点

生駒駅周辺、東生駒駅周辺

広域的なにぎわいと風格のある、生駒の個性や魅力あふれる拠点形成を図る

○地域拠点

・学研北生駒駅周辺

・南生駒駅周辺

地域の顔となり身近な生活や交流を支援する機能が集約された拠点形成を図る

14

1 2 施策の大綱

○基本的施策

まちづくりの分野別に今後必要な基本的な取組を示す施策

○経営的施策

持続可能な行財政運営を推進するために必要な取組を示す施策

○戦略的施策

人口減少・少子高齢化による人口構造の変化と、個人のライフスタイルや価値観の多様化に伴って生じる将来的な課題（概ね20年先）を見据え、その課題解決もしくはその課題による影響を緩和するため、基本構想に掲げる「戦略的なまちづくりの視点」である、生活・社会・都市構造の3つの視点から、分野横断的な展開により、今後5年間のうちに戦略的に推進する施策

15

1 3 基本計画の体系

大分野	中分野	小分野(施策)
自分らしく輝けるステージ・生駒	1 安全で、安心して健康に暮らせるまち	11 健康づくりの推進と医療サービスの充実
		111 健康づくり
		112 医療
		12 高齢者の生活を支えるサービスの実施
		121 高齢者保健福祉・地域福祉
		13 障がい者の日常生活と社会生活における支援の実施
	2 未来を担う子どもたちを育むまち	131 障がい者保健福祉
		141 防災
		142 消防
		151 生活安全
		211 母子保健
		212 子ども・子育て支援
	3 人権が尊重され、市民が輝く、文化の薫り高いまち	221 学校教育
		222 青少年
		311 人権・多文化共生
		312 男女共同参画
		321 市民協働・地域コミュニティ
		331 生涯学習・スポーツ
	4 人と自然が共生する、住みやすく活動しやすいまち	332 歴史・文化振興
		411 住宅環境
		412 都市づくり
		421 道路・公共交通
		422 上下水道
		431 低炭素・循環型社会の構築と生活環境の保全
	5 地域の資源と知恵を活かし、魅力と活力あふれるまち	432 生活環境
		441 緑環境・公園
		511 都市活力創造
		521 商工観光
		531 農業
		611 行政経営
6 持続可能な行財政経営を進めるまち	61 健全で効果的・効率的な行財政運営の推進	612 情報提供・情報利活用
		613 財政経営
		614 職員・行政組織

16

細分野名	5年後のまち	現状と課題	行政の5年間の主な取組	具体的な事業	多様な主体との協創	指標	指標
市民ができること	事業者ができること	関連する主な取組					

[illegible]

1 5 戦略的施策

戦略的なまちづくりの視点

今後20年で、市民の「生活」、市民が属する「社会」、市民が暮らす「都市」で構造上の変化が徐々に進む。

→ 変化に対応するために、長期的な視野で、行政サービスやまちづくりのあり方を徐々に方向転換し、分野横断的に施策展開していく必要がある。

生活構造の視点

社会構造の視点

都市構造の視点



19

1 5 戦略的施策

生活構造の視点（ライフスタイルや暮らし方の変化）

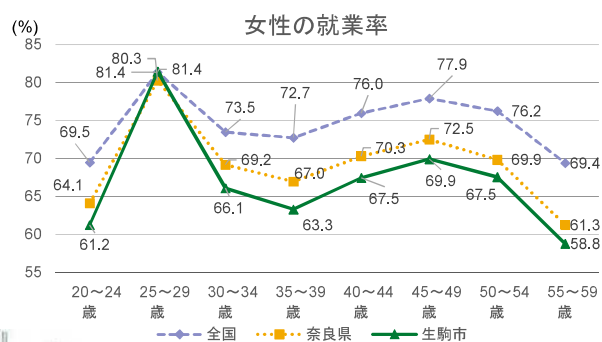
これまで

誕生 → 就学 → 進学 → 就職 → 結婚 → 育児 → 定年退職

が一般的な人生

これから

- ・働きながら子育てする女性
- ・在宅ワークで子育てする男性
- ・定年後も社会で活躍する高齢者



20

3-15 戦略的施策

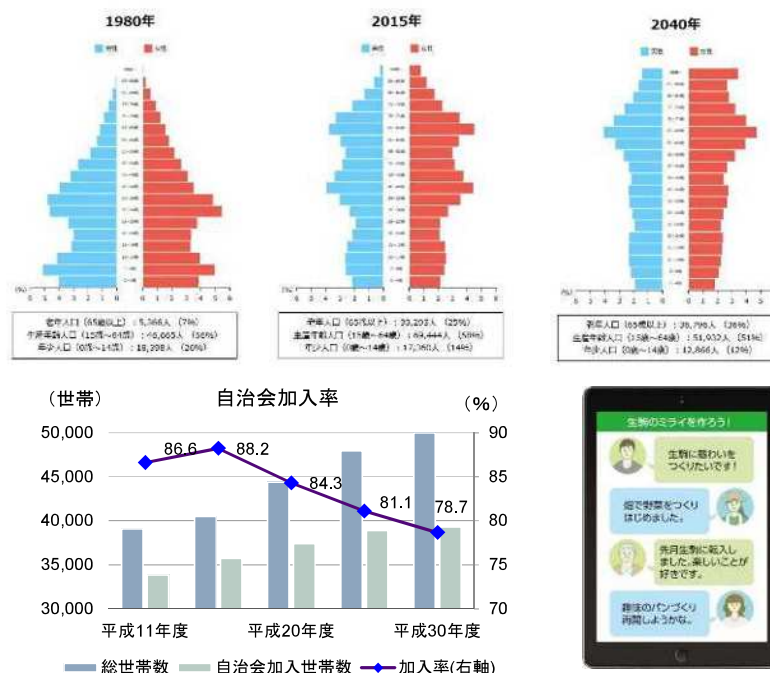
社会構造の視点（社会・コミュニティの変化）

これまで

- ・現役世代が社会の中心
- ・核家族、二世帯住宅
- ・地域で支えあい

これから

- ・人口減少、高齢化
- ・独居
- ・地域との繋がりが希薄化
- ・SNSでの緩やかなつながり



21

15 戦略的施策

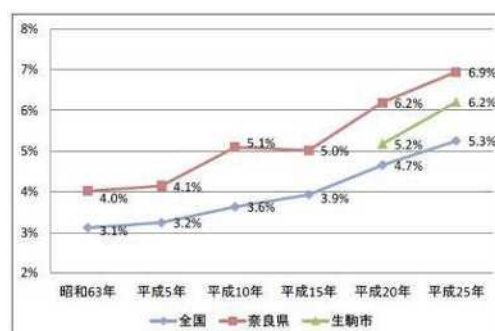
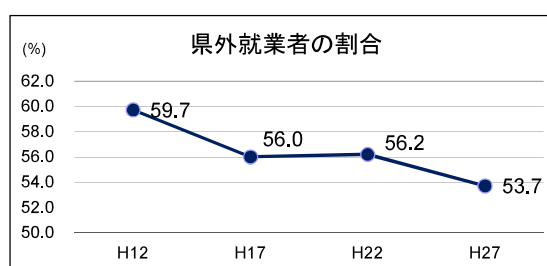
都市構造の視点（都市のあり方の変化）

これまで

- ・自宅と職場（駅）を結ぶ動線
- ・ベッドタウン的な都市構造

これから

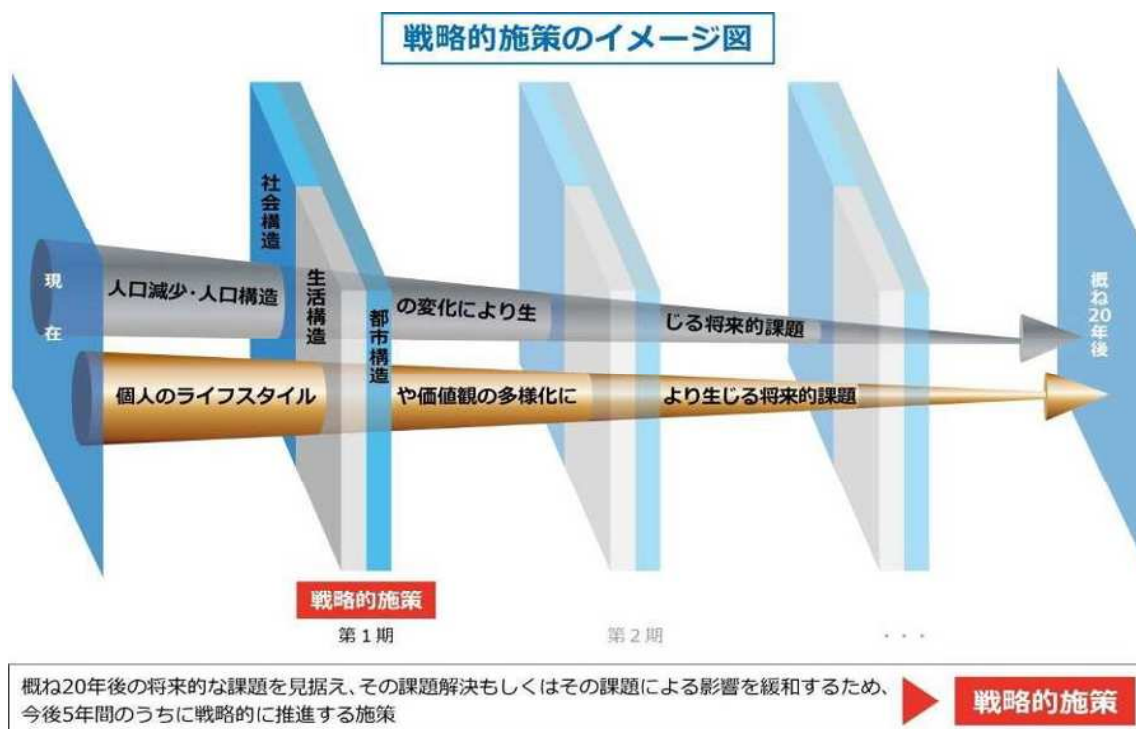
- ・生活構造、社会構造の変化に伴う都市構造
- ・空き家の増加
- ・様々な場所で交流できる場を設置



出典：住宅・土地統計調査（平成5年以前は住宅統計調査）
図2-9 全国、奈良県、生駒市の空き家（その他の住宅）率の推移（S63～H25）

22

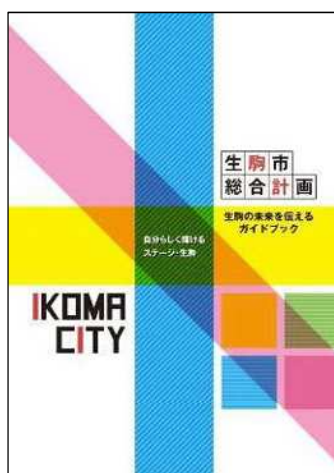
1 5 戦略的施策



23

1 6 生駒の未来を伝えるガイドブック

計画に掲げる目標やまちづくりの基本的な考え方、これまでの生駒市の姿やこれから予想される未来の姿をイラストやグラフを使って見やすくまとめたガイドブック



24